

## PRESS RELEASE

報道関係各位

2018年1月15日  
株式会社ディノス・セシール

### ～ディノスの復興支援活動『東北に春をお届けします。』～ 2017年度の福島県への桜植樹本数は155本、累計1,022本に

株式会社ディノス・セシール（本社：東京都中野区、以下ディノス・セシール）は、「ディノス」の復興支援活動『東北に春をお届けします。』で東北の子どもたちを応援する活動を、2011年度より継続して実施しています。2013年度から、子どもたちの未来に向けた取り組みとして開始した、福島県への桜植樹については、当社およびフジ・メディア・ホールディングスグループ各社、また当社取引先等、合計15社の参加により、2017年度は155本を植樹します。これで支援開始以来の植樹本数は、累計で1,022本となります。



「ディノス」の復興支援活動『東北に春をお届けします。』では2011年の東日本大震災後より、対象カタログでの購入1回ごとに10円を同活動に充てるなどして、顧客参加型支援を継続してきました。現在は子どもたちの未来に向けた活動として、桜植樹および教育支援を実施しています。

桜植樹については、震災時に津波被害を受け、今でも多くの問題を抱える福島県で、国道6号線を中心とした道路沿いに桜を植樹する「ふくしま浜街道・桜プロジェクト（主催：『ふくしま浜街道・桜プロジェクト』実行委員会）」の“20年後、30年後に子どもたちが誇れる桜並木を”の思いに賛同し、2013年度より協賛を開始しました。また、関連各社への参加を呼びかけ、今年度の植樹本数は、株式会社フジ・メディア・ホールディングスおよび同社連結子会社13社の計14社（※1）より90本、ディノス・セシールの取引先1社（※2）より5本、ディノス・セシールより「ディノス」の顧客参加による60本の合計155本となりました。1月20日（土）に、植樹地のひとつである福島県南相馬市小高区において、桜の植樹を実施予定です。なお、“浜街道”と呼ばれる福島県の国道6号は、オリンピックの聖火リレーコースとして検討されています。

また、2015年度より開始した教育支援については、東北の未来を担う子どもたちに対して、学びと自立の機会を作る活動を展開する「ハタチ基金」（運営団体：公益社団法人 ハタチ基金）に603,520円を寄付します。

## PRESS RELEASE

### ◆「東北に春をお届けします。」2017 年度実施概要◆

対象カタログ「ディノス ウィズ 2017-2018 冬号」での 2017 年 12 月までのお客様のお買いもの 1 回ごとに 10 円を、福島への桜植樹、および東北の子どもの教育支援団体への寄付に充てます。

#### ◆福島への桜の苗木植樹

植樹本数 : フジ・メディア・ホールディングスと傘下 13 社の計 14 社※1 より 90 本  
ディノス・セシール取引先 1 社※2 より 5 本  
ディノス・セシールの顧客参加による 60 本 計 155 本  
(累計植樹本数は計 1,022 本、桜並木に換算するとおおよそ 11km 相当)

現地パートナー : NPO 法人 ハッピーロードネット <http://happyroad.net/>



#### ◆東北の子どもの教育支援団体への寄付

寄付決定額 : 603,320 円

寄付先 : 公益社団法人 ハタチ基金 <http://www.hatachikikin.com/>



※1 福島への桜の植樹に協賛した、フジ・メディア・ホールディングスおよび傘下 13 社の計 14 社 (50 音順)  
(株)フジ・メディア・ホールディングス  
(株) エフシージー総合研究所、(株) 共同テレビジョン、(株)クオラス、  
(株) サンケイリビング新聞社、(株) NEXTEP、(株) ビーエスフジ、(株) フジキャリアデザイン、  
(株) フジクリエイティブコーポレーション、(株)フジテレビジョン、  
(株) フジパシフィックミュージック、(株) フジミック、(株) 扶桑社、(株) ポニーキャニオン

※2 福島への桜の植樹に協賛した、ディノス・セシールの取引先  
(株)東京商工社

<本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ディノス・セシール 広報室 中山、本條 Tel : 03-6743-1114 / e-mail : [pr@dinos-cecile.co.jp](mailto:pr@dinos-cecile.co.jp)

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

ディノス ハートコールセンター Tel : 0120-111-555 (9 時~21 時、携帯・PHS 可)